

時に授業で教わっ

たくら 小学校の

開拓については、

くれた。

役を演じきった感想を話して



機井那月乃 さん 塩原小中学校 8年生



出演することで、故郷のことが学べた

に 主役のりん を演じること出演していたが、今回、つい までは 幼少期のりん の役でいうのが入団の理由とか。今 習を見学に行き、その様子が んだ。 感じることができた」と、 面白かったし、自分の成長を に。「稽古は大変だったけど すごく面白そうに感じた」と たもう一人が、櫻井那月乃さ 「お母さんに連れられて練

定は、 変わります。今回、りんの設の劇は毎年少しずつ演出が 演をし続けたいという。「こ れ させながらこれから じてみたい」と目をキラキ 次回はまた違ったりんを演 の歴史を学んだ櫻井さん。こ からも那須野の大地に出 泣き虫のりんでした。 の目

とか。 Ł, 労があり、 かし、 て開拓を進めてきたんだな」 0演したことで、 だったという櫻井さん。 土地を耕していたイメージ」 自ら演技することで、 「大人が鍬などをもって 子どもは子どもなりの苦 イメージに変化があった 自身が子役として出 みんな力を合わ 「大人は大人 開拓 せ

日本遺産認定記念講演会 那須野が原開拓の魅力に迫る

昨年5月に日本遺産に認定された*明治 華族による開拓にまつわるストーリー 「明治貴族が描いた未来~那須野が原開 拓浪漫譚〜」。明治政府で要職を務めた <u>華族たちが起こした華族農場など</u>の那 須野が原開拓の魅力に迫ります。



- ▶とき 3月2日(土) 午後1時30分開会
- ▶ところ 乃木温泉ホテル (下永田1-993-11)
- ▶参加費 無料
- ▶定員 200人
- ▶その他 事前に申し込みが必要です り次第、広報誌でお知らせします。
- ▶問い合わせ

西生涯学習課 ☎0287(37)5419



日本遺産

に全国で約100件まで増せ うとするもので、文化財を 点」として捉え、主に保存を 重視するこれまでの文化財推 定の制度と性格が異なり、b 域に点在する遺産を「面」とし て一体的に捉え、活用するこ とが重視されています。

日本遺産とは…

共に主役の「鶴見りん」を演じ

昼の部と夜の部で出演者が入

と夜の2回上映され、 須野の大地は、毎回昼

れ替わる。

先述の山口さんと



未来へつなぐ

那須野が原開拓に命を懸けた先人たち。彼らの思いを未来へつな いでいくことが私たちの務め。開拓の様子を描いた劇「那須野の 大地」を毎年公演している「劇団なすの」のメンバーに話を聞いた。

劇を通じて、故郷が好きになった

初めて抜擢された。「『りん』 担っていたが、今回、主役に リフの量や演じる場面も桁違 は、今までの役と比べて、 な効果を演出する狐の役を いに多いので、 今までは、 初めは不安しかなか 劇中のさまざま 正直自信がな セ つ

劇に興味があり、友人から誘 たのは、中学1年生の時。演 の彼女が劇団なすのに入団し 鈴華さん。 「鶴見りん」の役を演じた山口 郷に対して持っていた思いを かった」。かつて、 大 大って田舎で何もな いを受けてメンバーになっ の那須野の大地で主人公の こう語ってくれたのは、今回 現在、高校1年生 特に魅力も感じな 自身が故

れた。

そうに当時の心境を話してく

ことができました」と、 たときは最高の達成感を得る

嬉し

うちに楽しくなり、

演じき

でも、

稽古を続けて

11

なってきた那須野が原。先人うに、世代を超えて豊かに の故郷を胸を張って自慢して この地域が好きになったとい 女。その夢が叶うとき、 流をすることを夢見ている彼 い」と話す。海外で異文化交 を、これからも伝えていきた たちが紡いできた開拓の歴史 う。「劇中のセリフにあるよ の歴史を学んでいくうちに、 ん。しかし、劇を通じて開拓 に思い入れがなかった山口 かつては、 故郷に対して特 さ

ゃまぐち すずか 山口 鈴華 さん 黒磯南高等学校 1年生





要所要所に書き込みがされ、読み込 まれた台本。

平成31(2019)年1月5日号 平成31(2019)年1月5日号